

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日		~ 2026年 3月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	13	(回答者数) 11
○従業者評価実施期間	2026年 2月 2日		~ 2026年 3月 2日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 28日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・季節に応じたイベントを実施し、保護者様同士の交流の機会を作っている。(BBQ、クリスマス、もちつき) ・ご本人様・ご家族様の意向を第一にできる限りで対応を行う	・時々広いスペースの福祉センターを利用し、普段行えない活動の幅を広げている。 事業所内のできる事であれば積極的に対応を行う	・事業所として移転は現時点では考えていないので引き続き、福祉センターの利用を継続すると共に外出での活動を今年度より増やしていく
2	・土、祝や長期休み、下校時間が早い日等はあるべく公園等で過ごし野外活動を中心に行っている。 ・月に1回は遠足日を設定している。	・地域の公園ばかりではなく他地域の様々な公園へ行き新し発見をしてもらう事でパターン化をふせいでいる	・遠足先の下見や情報をさらに広げ、他事業所と合同で活動できるように取り組む
3	・ご家族に対してご子ども達の様子をしっかりと伝え、必要な情報提供を行っている。 ・ご家族の不安や困りごとに寄り添っていけるような体制づくりを行っている	・その日の出来事や、気になる点などをその日の送迎時にスタッフ間で共有しご家族様に情報共有している。 ・ご本人様・ご家族様の困りごと等をスタッフで話し合い、対応方法を検討するミーティングを行っている。	・イベント等の際にさらにコミュニケーションを図り、ご家族様も参加できるイベントを増やせるように検討していく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・昨年度に比べると他事業所との交流は増えたが、併用事業所では無い為、在籍児童の情報交換にはつながらない。	・併用事業所とのやり取りが事務関係の連絡のみで直接支援にあたっている職員との交流が行いづらい	・今交流している事業所にも協力頂きながらお互いのイベントに積極的に参加し交流先を増やしていきたい
2	・開設当初は在籍児童がほぼ低学年で気にならなかったが、現在ほぼ高学年になったことにより、プレイルームのスペースが狭い	・雨の日や通常下校の際ずっとプレイルームなのでどうしても密着してしまう	・ベランダだった所をリフォームし部屋数を1つ確保できたがそこにエアコン設備が無い為良い季節にしか使用できないので改善していきたい
3	・さまざまな研修がパターン化している	・研修内容をもう少し具体化したい	・自立支援協議会等への参加を増やす

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス ハッピードア

公表日 年月日 2026年3月31日

利用児童数 13

回収数 11

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1		2		限られたスペースの中で、安全にすごせるよう配慮しています。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	9	1	1			現行維持。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	9			2	床にクッションを敷くなど配慮されています。	それぞれの特性に合わせた、わかりやすい環境を作っていく。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9			2	汚れている感じは無いです。	安心してご利用いただけるように清掃等、清潔で心地よい環境作りを行っています。
適切な 支援の 提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	9			2	いつもしっかり見ていただいています。	それぞれの特性を十分に理解し、支援を行っていく。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	10			1		毎年、児童の状態に合ったプログラムを熟考し対応を行う。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11				細かく考えられています。	今後も、それぞれの特性、現状に合った個別支援計画を作成していく。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	1		1		ご本人、ご家族視点を大切に可能な限りの対応を行う事を基本に支援活動を考えられています。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10			1		計画通りのことを行い、変化等があった際は児童、保護者様と相談し支援を行っていく。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	8	1		2	外出したり、イベントがあったり工夫されています。	当日の児童によってプログラムの変更等を行っております。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	6	2	1	2		行事や、イベント等で交流の機会を模索していきます。
保護者 への 説明 等	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	9	1		1		面談時に分かりやすく丁寧な説明を心がけていきます。
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	8	2	1			利用開始日に個別支援計画を説明させて頂く機会を設けております。今後はより分かりやすく説明するよう心がけます。
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	4	4	1	2	参加できていないので分かりません。個別で相談した際、家族側の支えとなり親身になって即対応してもらっています。	情報があればプリント等でお知らせしています。
	15 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	11				毎回伝えてもらっています。	連絡帳や口頭でその都度、状況をお伝えしております。
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	5	3	2	1		現状、相談された範囲での対応を行っております。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	10			1		心に寄り添った支援を心がけています。
	18 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1	1	1	定期的なイベントなどで交流できるようになっています。	家族参加型のイベント等を開催し、交流できる機会を設けています。
	19 子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10			1		相談や、申入れをされた際はお受けしておりますが、相談内容によっては時間をいただいているため、迅速に対応できるようにしていきたいです。
	20 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	10			1		交流会等のイベントや日々の送迎時に小さなことでもコミュニケーションをはかり、意思疎通、情報伝達の配慮を行うよう心がけている。
	21 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	8	2		1		SNS等で日頃の活動なども発信しています。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	9	2			外からは見えないよう袋に入れてもらっています。	個人情報の管理には特に気を付けて扱っております。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7	3	1			策定はしているが、周知、説明が不足しているためSNS等を活用し周知していただけにする。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	4	1			年2, 3回程度スタッフによる訓練は行っている。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	6	3		1		できる限りの安全確保には務めておりますが、今後も可能な限り安全な環境づくりを心がけていきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	3		1		連絡帳や口頭で状況説明等行っております。緊急時は迅速に対応できるように務めていきます。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					今後も、安心感をもっていただけるように精進していきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	11					今後も、児童が楽しく過ごせるような環境作りを目指していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	11					今後も、事業所としてできることを少しでも増やし支援の幅を広げられればと思います。

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
ハッピードア	公表日 2026年3月31日					
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		子どもたちがみんな大きくなったことにより狭く感じてきたため、テラススペースを作った。	安心、安全に活動ができるよう今後も配慮しながら支援する。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		今のところ問題なし。	現行維持。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		児童に分かりやすいような掲示物等環境作りを行っている。バギーの乗り降りに使用するスロープを設置している。	児童の年齢に合わせて、環境を変化を行っていく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6		日々、職員全員で清掃活動をしており、児童が安心、安全に過ごせる環境作りを行っている。	現行維持。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		児童に合わせて個別の部屋を使用できるように配慮している。	現行維持。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	4	2	会議等で業務改善を進めるために話しあっている。	会議等で行っていたが、職員全体での熟知していなかったため参画していく。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		職員会議を行っている。	保護者様から頂いたご意見を理解し、業務改善につなげる。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		月に一度職員会議を開き、その都度意見交換を実施している。	現行維持。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	2	感染症に対する評価を行っていただいた。	多くの視点からの意見を頂けるようにする。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		月に一度の職員会議の後に毎回、異なる研修を行うようにしている。	現行維持。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6		ホームページにて公表している。	ホームページの周知を広げていく。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		半年に一度アセスメントをとり、全体でのモニタリング会議を行い計画を作成している。	現行維持。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6		全体のモニタリング会議で共通理解を行い、日々の児童本人、ご家族様の困りごとを中心に最善の利益を考慮した検討を行っている。	現行維持。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		支援計画に沿った支援を行っている。	現行維持。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		半年に一度フォーマルなアセスメントを使用しており、連絡帳や記録物で適応行動の状況を確認している。	現行維持。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6		各々の特性に合った支援計画を左記の要素を踏まえながら作成している。	現行維持。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6		全体で行っている。	現行維持。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		原則、半年ごとに児童の状態により固定化しないように再検討を行っている。	現行維持。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		行われている。	現行維持。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6		支援前に職員同士でコミュニケーションをとり支援役割を確認している。	現行維持。

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		その日、行った支援等を共有して、次回支援につなげている。	現行維持。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6		連絡帳、日誌での記録を行っており、支援の検証・改善につなげている。	現行維持。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6		6ヶ月に一度モニタリングを行っている。必要性を判断し、適切な見直しもやっている。	現行維持。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	6		行っている。	現行維持。
	25	子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6		選択肢を作る等自己決定をする場面を増やしている。	現行維持。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6		原則のガイドライン通りに行っている。	現行維持。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6		担当者会議に連携先とのコミュニケーションをはかり、支援の連携体制を行えるようにしている。	セルフプランの連携がスムーズではないことが多いので連携をはかれるような取り組みをしたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6		情報共有、連絡調整を行っている。	現行維持。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	2	4	保護者様からの情報提供資料等で情報共有を行っている。	現状、書面でのやり取りが主なためこの部分の改善をしたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6		支援内容の情報を提供している。	現行維持。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。		6	定期的な連携は行っていないが、行政書士に必要に応じて、助言をいただいている。	地域の児童発達支援センターとの連携を図り積極的に研修を活用したい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6		地域の福祉事業所との交流を不定期で行っている。	年間行事等で、他の子どもたちと活動する機会を検討していく。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	3	3	事業所代表が参加できる際に参加している。	職員全体で理解できるようにする。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6		日頃より、ご家族様からの連絡を共有し、スタッフ間で理解、対応を行っている。	現行維持。
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	4	チラシ等の情報提供のみ行っている。	チラシのみになっているため、必要に応じて希望者が多い場合には開催したい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6		契約時に丁寧な説明を心がけている。	現行維持。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6		日々の児童の変化と共に、ご家族様の意向も常に確認している。	現行維持。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6		契約後や更新後に説明しています。	現行維持。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6		ご家族から相談、悩み等があればその都度、支援を行っている。	必要に応じて面談する機会を設けたい。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	4	2	年に数回バーベキュー等のイベントを開催し保護者様同士の交流する機会を設けている。	イベントを増やしていきたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6		迅速かつ適切に対応を行っている。	現行維持。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6		お知らせプリント、SNS等での発信を行っている。	SNS等の更新を増やしていきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6		十分留意している。	現行維持。

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6		伝わりやすい言葉での説明を心がけている。	現行維持。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6		今年は開催できなかったが、例年、地域の福祉センターで地域住民も参加できる、もちつきイベントを行っている。	地域住民の参加できるイベントを今後は増やしていきたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6		毎年見直しを行い、年2回程度訓練を行っている。	現行維持。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6		BCPを策定し、訓練を行っている。	現行維持。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6		保護者様に必ず確認するようにしている。	現行維持。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6		契約時に保護者様より連絡をいただき対応している。変化等があった際も連絡いただいている。	現行維持。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6		可能な限りの安全対策を行っている。	現行維持。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	2	安全対策を行った旨を口頭で伝えている。	安全計画について、ご家族様にご理解いただけるように書面等を使用し周知していただけるように心がける。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	起きてしまった事例に対して事業所内で共有し、再発防止策は検討している。	現行維持。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6		年間で6回程度研修を行っており、自己アンケート等で見直す機会を設けている。	現行維持。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6		現時点で身体拘束はおこなっていない。	今後も身体拘束を行う必要はないが、やむを得ない場合の事を考え身体拘束の知識は持つておく必要がある。